

社会・環境部会 2021 年度第 3 回運営小委員会議事メモ

2021 年 12 月 15 日
社会・環境部会 事務局長
山本 隆一

1. 日 時：11 月 15 日（月）13 時 20 分～15 時 45 分
2. 場 所：Zoom ミーティングルーム（ホスト；土田）
3. 出席者：土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、伊藤委員、寿楽委員、高木委員、稲村委員、小林委員、木藤委員、桑垣委員、北田委員、布目委員、山本事務局長
4. 議事：
 - (1) 部会長挨拶
 - (2) 前回議事メモ確認

山本より資料 21-3-1 に沿って前回議事録案を紹介した。既に供覧済みでもあり、特にコメントもなかったなので、本案をもって了承とした。
 - (3) 部会等運営委員会の状況について

稲村委員より資料 21-3-2 に沿って紹介があった。また、併せて部会から選出しているプログラム編成委員等が固定化している現状を改善する必要があるとの指摘があり、次年度以降において見直しすることとなった。先般の部会等運営委員会において大会・年会の開催形態について議論があり、これに関連して次の同委員会において部会として回答が必要な宿題があることが紹介された。議論の結果として、以下のような回答方針が示された。

 - ① 大会、年会の開催形態については、少なくとも一方は対面での開催を望みたい。ただし、その一部をリモートで開催することは排除しない。
 - ② 企画セッションについてオンライン配信することは排除しないが、研究会自体をオンライン配信することは考えていない。

参考として、今年度第 2 回理事会において山口会長が示したコメントについて紹介があった。これに対し、理事会の一員である部会長より以下のような補足があった。

 - ① 会長は会員数減に対する危機感があり、学会の運営を理事会主導に持っていきたい様子
 - ② その一環としてマスコミとの交流も理事会として取り組む意向（実質的には会長とマスコミとの意見交換？）

(4) 春の年会における企画セッションについて

佐田副部長より資料 21-3-3 に沿って紹介があり、提案の文面で提出することとなった。当該企画セッションの時間配分は今後詰めることになるが、3 件の講演については 15 分～20 分とし、冒頭の座長による趣旨説明を含めて 1 時間程度でまとめ、残り 30 分程度をパネル討論に充てる方向となった。

(5) 研究専門委員会設置について

引き続き佐田副部長より資料 21-3-4 に沿って紹介があり、おおむね了承された。設置説明時点における委員構成については現運営小委員会メンバーを中心に構成し、状況やテーマに応じて有識者や関係者にオブザーバー的に参加してもらう、あるいは適宜、委員になってもらう方向となった。なお、現状では人文・社会科学系の専門家が少ないことから、委員会を進める中で適宜専門家を招聘し議論を進めることを追記しておくこととなった。また、土田部長を主査に、佐田副部長と寿楽委員を幹事とすることとなった。

(6) 学会と福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会（ANFURD）が開催するウェビナーへの登壇依頼について

布目委員より資料 21-3-5 に沿って紹介があり、部会として対応することが了解された。

(7) 定例報告等

① 2021 年度予算執行状況及び 2022 年度予算申請案

高木委員より 21-3-6 に沿って説明があった。2022 年度の予算申請においては、ほぼ例年どおりに計上しているが、会議（会場）費については最近の会議室使用料を考慮して計上額の見直しが提起された。意見交換の結果、見直した額での予算申請案が了承された。

② マスメディアとの関係構築（今後の進め方）

伊藤委員より資料 21-3-7 に沿って説明があった。開催方法としてはメディアの要望を踏まえてハイブリッド方式を採ることとなったとのこと。ただし学会の会議室が使えないことから民間の会議室を利用する可能性が高く、利用する場合の会場費（現時点での想定 8 万円）について支出が了承された。

③ データ管理ワーキンググループについて

土田部長より口頭にて報告があった。その中で、データベース自体が既に古くなりつつあり、当ワーキンググループ自体は残すものの、運営小委員会での定例報告から外す方向となった。

④ ポジション・ステートメント WG に関わるトピックス

山本より口頭にて現状紹介を行った。また部長より補足があり、学会自身も今後の方向性を考えているとのこと。

⑤ 部会 HP について

木藤委員より資料 21-3-8 に沿って紹介があった。この中で、HP の構成について意見交換があり、「部会の活動」の「部会賞」のところでは表彰小委員会メモなど表彰に至る議論について紹介し、受賞者紹介は現状通り「部会について」の中に置くこととなった。また、Facebook の活用に関連して、新着情報掲載のお知らせなどを中心に小林委員に書き込みをお願いすることとなった。

(8) 2021 年秋の大会報告

本年秋の大会における全体会議及び部会企画セッションについて資料 21-3-9 と資料 21-3-10 に沿って紹介し確認する予定であったが、前項までの議論に時間を要したこと、並びにこれら二つの資料については既に 9 月中旬に供覧済みであったことから、運営小委員会としては改めて読み直すことはせず確定とすることとした。

(9) その他

これまでの Zoom を用いた会議設定ができなくなったことから、(表彰小委員会も含めて) 次回以降は学会事務局より提案を受けた Webex による会議設定を受け入れることとした。なお、Webex 使用中において不都合が生じた場合は部会長を始めとする Zoom の使用が可能な委員に協力を仰ぐことで対処することとした。

*その後、運営小委員会等での Zoom の使用については完全に不可となったわけではなく、契約枠からはみ出る分については Webex での開催を推奨することであったことが確認できたため、本件については「運営小委員会等をリモート開催する場合、Zoom の使用を基本としつつ、それが無理な場合は Webex 等を使用する」と修正する。なお、いずれにおいても、不具合などにより学会のシステムが使用できなくなった場合は、部会長を始めとする Zoom 使用が可能な委員に協力を仰ぐことで対処する。(山本追記)

以上